

# 衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 26. 5. 22 第 186 回国会第 5 号

5 月 22 日（木）、第 5 回の委員会が開かれました。

## 1 青少年問題に関する件（青少年とインターネットをめぐる諸問題）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 全国webカウンセリング協議会理事長	安川 雅史君
千葉大学教育学部教授	藤川 大祐君
前刈谷市児童生徒愛護会委員長	
(愛知県刈谷市立雁が音中学校校長)	大橋 普支俊君
デジタルアーツ株式会社代表取締役社長	道具 登志夫君

(質疑者及び主な質疑内容)

### 堀内 詔子君（自民）

- ・青少年が使用する機器が携帯電話からスマートフォンに移行したことによって、生活にどのような変化が生じ、これに対してどのような点に着目して取組む必要があるか、藤川参考人の見解を伺いたい。
- ・青少年が情報モラルを身につけるための方策について、安川参考人の見解を伺いたい。
- ・大人よりも子どもの方がスマートフォン等の機器について詳しく知っている現状について、各参考人の見解を伺いたい。

### 佐藤 正夫君（みんな）

- ・スマートフォン等の小中学生向けフィルタリングでは、SNSが使えない設定とのことだが、何が基準となっているのか、道具参考人に伺いたい。
- ・スマートフォン等のフィルタリングの設定は簡単にできるのか、また、フィルタリングの解除は、子どもでも簡単にできてしまうのか、道具参考人に伺いたい。
- ・学校での情報モラル教育が、急速に変化するインターネット環境に追いついているのか、藤川参考人及び大橋参考人の見解を伺いたい。

### 大西 健介君（民主）

- ・刈谷市における取組（夜9時以降の子どものスマートフォン等の使用制限等）は、市ではなく地域の取組であること、お願いであって強制ではないことを大橋校長に確認したい。
- ・刈谷市における取組を他地域にも広く普及させるための留意点について、大橋参考人の見解を伺いたい。
- ・効果的な情報モラル教育の在り方について、道具参考人に伺いたい。

### 鈴木 望君（維新）

- ・刈谷市における取組のメリット及びデメリットについて、大橋参考人に伺いたい。
- ・インターネットを通じて行われるいじめが問題となっているが、いじめの根絶・防止策について、藤川参考人の見解を伺いたい。
- ・インターネットを通じて行われるいじめ対策として、対人接触の機会を増やすなど、子ども自身を鍛えることが必要であると考えているが、安川参考人の見解を伺いたい。

### 稲津 久君（公明）

- ・リベンジポルノに対する規制法の必要性及び立法化する際の留意点について、安川参考人及び藤川参考人の見解を伺いたい。
- ・フィルタリングの普及のための広報活動において、国等が果たすべき役割について、道具参考人の見解を伺いたい。
- ・インターネット上に書き込まれた小中高校の児童・生徒に対する中傷や個人情報に対し、自治体がサイト運営者に削除を要請したが拒否された事例について、安川参考人の見解を伺いたい。

### 青柳 陽一郎君（結い）

- ・携帯電話販売店が保護者に対し、無線LAN利用に対応したフィルタリング等の説明の徹底を図る必要性及び啓発のチラシを配布する効果について、道具参考人の見解を伺いたい。
- ・昨今のインターネットをめぐる環境の変化を踏まえ、青少年インターネット環境整備法の改正の必要性について、藤川参考人の見解を伺いたい。

- ・学校教育における授業の質及び学習効果の向上を目指し、ICT教育を充実させることについて、大橋参考人及び道具参考人の見解を伺いたい。